



子どもの笑顔に癒され、励まされ

先週の土曜日の朝、全校朝礼室に入ってきた子どもたちは、前の壁面に貼り付けてある大きな「こいのぼり」をみて、ワッと声を上げていました。初めて本物の「こいのぼり」を見る子どもたちもいたようです。幼稚部の大西先生からの借り物で、マイアミの青空に大きな「こいのぼり」を泳がしたいところですが、その策がなく断念しました。日本でも、高いポールにこいのぼりが泳いでいる風景は、随分見なくなりましたが、日本の小学校では、学年を中心に「こいのぼり集会」をして、黒のビニル袋を張り合わせ、飾りつけをした手製の「こいのぼり」を泳がす取り組みもあります。補習校ではさっそく、一時間目に幼稚部が、「ミニこいのぼり」を作り、色を塗り、飾り付けをし、出来上がると、全員が得意そうに見せに来てくれました。日本の伝統文化が、幼い頃から子どもたちの心に刻まれ、しっかりと根付いてほしいと思いました。



(鯉のぼりを背にスピーチ)

又、この日のお昼休みは、今年度最初の学年交流日①でした。マイアミ補習校は一つの家族として、この時間は、2学年ごと学年の枠を超え、遊びを通して子どもたちの交流を計るもので、生徒会で事前に計画し、実施されました。強い日差しの中でも、先生方と一緒に中庭に集まった



子どもたちは、列車ごっこ、鬼ごっこ、ジャンケン列車(ジャンケンで負けたら後ろにつくゲーム)などの遊びを、汗をかきながらも、笑顔で楽しんでいました。列車ごっこのトンネルを作る中3生、さすが優しい心遣いで園児達にトンネルの高さを合わせて通していました。鐘が鳴っても中学生のお姉さんと仲良くなった低学年の女の子たち、なかなか側を離れようとはしませんでした。汗を拭きつつ教室に向かう子どもたちの満足そうな表情。異年齢集団で遊ぶことを契機に補

(園児と中3生の交流風景) 習校の子どもたちの交流が、更に深まってくれればと思います。

この日の朝、生徒会より提案された「復興支援の貯金箱づくり」の構想は、生徒会長の藤本玲奈さんがお休みのため副会長の猪爪恵理子さんより、全校朝礼で生徒たちに説明、その後の保護者朝礼でも詳しい説明がされました。ご家庭ではお子様と話が進みましたでしょうか。貯金箱は、一人一人が用意できていますでしょうか。「自分が何のお手伝いをがんばることで復興支援になるのか」具体案を話し合ってください。ご家庭でのご協力をお願いします。

